

2023年8月22日

抗議声明 **A L P S 処理水海洋放出開始日の決定に抗議し
撤回を求める～漁業者との約束を守り、福島県民・国民合意
のない海洋放出は中止を！**

ふくしま復興共同センター

代表委員	野木茂雄（福島県労働組合総連合議長）
同	根本敬（福島県農民運動連合会会長）
同	北條徹（福島県民主医療機関連合会会長）
同	二宮三樹男（福島県商工団体連合会会長）
同	井上裕子（新日本婦人の会福島県本部会長）
同	町田和史（日本共産党福島県委員会委員長）
同	伊東達也（原発問題福島県民連絡会副代表）

岸田政権は、本日、関係閣僚会議を開催し、A L P S 処理水の海洋放出を、8月24日から開始することを決定した。私たちはこの決定に強く抗議するとともに、その撤回を求めるものである。

私たちは、A L P S 処理水の海洋放出について、第1に、国と東京電力が漁業者との約束＝「関係者の理解なしに、いかなる処分も行わない」という約束を破ることは許されないこと、第2に福島県民・国民合意がないもとで、海洋放出が強行されれば、これまでの12年間の復興の努力が台無しになることなどから反対してきた。また、海洋放出ではない解決策＝「広域遮水壁」などで汚染水の新たな発生を抑え、陸上保管を継続する方法があることも提案してきた。しかし、これらの点があいまいにされたまま、スケジュールありきで海洋放出日を決定したことは認めるわけにはいかない。

海洋放出をめぐる不安や懸念は、現時点でも何ら解決していない。逆に輸出品の価格が大幅に下落するなど深刻な影響が広がっている。また昨日開催された「復興と廃炉の両立とA L P S 処理水問題を考える福島円卓会議」では、海洋放出の「凍結」を求めるとともに、設備面での確認とは別に「具体的な運用計画」の提出と審議が行われていないという問題点を指摘しており、国と東京電力の真摯な対応が求められている。私たちは、漁業者との約束を守り、福島県民・国民合意のない海洋放出は中止することを強く求めるものである。

以上